

令和6年度中間貯蔵施設整備等影響緩和交付金基金事業状況報告書

(基金の運用実績)

(単位：千円)

事業区分	基金の 保有区分	令和6年度 当初保管額	運用益繰入額	令和6年度 支出済額	令和6年度 年度末保管額	今後の 支出予定額	保有 割合
中間貯蔵施設整備等 影響緩和交付金 基金事業	地方債	10,000,000	0	0	10,000,000	10,000,000	1.0
	定期預金	28,440,703	4,070	2,600,000	25,844,773	25,844,773	1.0
	普通預金(注)	104,198	47,782	52,461	99,519	99,519	1.0
合計		38,544,901	51,852	2,652,461	35,944,292	35,944,292	1.0

(注) 普通預金の運用益繰入額は、地方債の運用益の振替、及び太陽光設備の売電益によるもの。

- ※ 本表は基金の保有区分ごとに記載すること。
- ※ 基金の保有区分は、実施要領第3の1で定める「基金の運用方法」を参考に記載すること。
- ※ 運用益繰入額は、当該年度に基金の運用によって生じた果実の金額を記載すること。
- ※ 支出済額は、当該年度内に支出負担行為を行い、出納整理期間に支出をしたものを含む。ただし、当該年度に債務負担行為のみを行ったものについては含まない。
- ※ 保有割合は、補助金等の交付により造成した基金等に関する基準（平成18年8月15日閣議決定）に従い算出すること。（通常の出崩し型事業であれば、「平成〇年度末保管額／今後の支出予定額」により算出すること。）

令和6年度中間貯蔵施設整備等影響緩和交付金基金事業状況報告書

(基金事業の結果)

事業名	事業実施主体	事業経費 (千円)						目標	目標達成度・評価	事業結果 (事業の目的・内容・完了期日、経費の使用方法・内訳を含む。)
		基金充当費		単独経費		合計				
		予算	決算	予算	決算	予算	決算			
大熊町スマートコミュニティ整備事業	大熊町	219,902	219,901	0	0	219,902	219,901	中間貯蔵施設の整備等による影響を緩和するため、町内における消費電力の制御のためのスマートコミュニティを整備することで、ゼロカーボンの推進、及び町民の生活空間の維持・向上を図る。	町内における消費電力の制御のためのスマートコミュニティの整備に向け、工事事業者と連携を密にし、業務を円滑に遂行できたことから、目標を概ね達成したと認められる。	<p><b>【目的】</b> 大熊町内にスマートコミュニティを整備することで、町内における電力消費量を削減し、ゼロカーボンの推進及び町民の生活空間の維持・向上を図ることを目的とする。</p> <p><b>【内容】</b> 上記目的を達成するため、令和4年度から令和6年度にかけて町内にスマートコミュニティを整備する。 (交付要綱第4条第1項第二号) 生活空間の維持・向上のための事業</p> <p><b>【完了期日】</b> 令和7年2月20日</p> <p><b>【経費】</b> 工事費 219,901千円</p>
大熊町スマートコミュニティ整備事業	大熊町	74,251	74,217	0	0	74,251	74,217	中間貯蔵施設の整備等による影響を緩和するため、町内における消費電力の制御のためのスマートコミュニティを整備することで、ゼロカーボンの推進、及び町民の生活空間の維持・向上を図る。	町内における消費電力の制御のためのスマートコミュニティの整備に向け、工事事業者と連携を密にし、業務を円滑に遂行できたことから、目標を概ね達成したと認められる。	<p><b>【目的】</b> 大熊町内に整備したスマートコミュニティ</p>

ニティ運営事業								響を緩和するため、町内における消費電力の制御を行うスマートコミュニティを運営することで、町内におけるゼロカーボンの推進による町民の生活空間の維持・向上を図る。	御のためのスマートコミュニティの運営にあたり、指定管理者と連携を密にし、業務を円滑に遂行できていることから、目標を概ね達成したと認められる。	ティを運営することで、町内におけるゼロカーボンの推進による町民の生活空間の維持・向上を図ることを目的とする。 【内容】 上記の目的を達成するため、スマートコミュニティ運営に係る業務を町が出資する電力会社に委託する。 (交付要綱第4条第1項第二号) 生活空間の維持・向上のための事業 【完了期日】令和7年3月31日 【経費】維持運営費 74,217千円
大熊町ゼロカーボン補助金事業	大熊町	69,396	55,731	0	0	69,396	55,731	中間貯蔵施設の整備等による影響を緩和するため、町内における再生可能エネルギーの導入等の脱炭素社会の実現に向けた取り組みに補助金を交付すること	ゼロカーボンの推進及び町民の生活空間の維持・向上のため、19件の申請者に円滑に補助金を交付することができたことから、目標を	【目的】 大熊町内における再生可能エネルギーの導入等の脱炭素社会の実現に向けた取り組みに補助金を交付することで、ゼロカーボンの推進及び町民の生活空間の維持・向上を図ることを目的とする。 【内容】 上記目的を達成するため、対象となる取り組みに補助金を交付する。

								で、ゼロカーボンの推進及び町民の生活空間の維持・向上を図る。	概ね達成したと認められる。	(交付要綱第4条第1項第二号) 生活空間の維持・向上のための事業 【完了期日】令和7年3月31日 【経費】補助金 55,731千円
大熊町大野駅西商業施設等整備事業	大熊町	2,406,867	2,159,332	0	0	2,406,867	2,159,332	中間貯蔵施設の整備等による影響を緩和するため、「特定復興再生拠点復興再生計画」に掲げる「大野駅前の賑わい」創出を目指す商業施設や広場を整備することで、町民の生活に必要な買い物環境や憩いの場を整えることにより生活再建を図るとともに、町内に人の	大野駅前の賑わい創出を目指す商業施設や広場の整備に向け、工事事業者と連携を密にし、業務を円滑に遂行できたことから、目標を概ね達成したと認められる。	【目的】 大野駅前に商業施設や広場を整備することで、町民の生活に必要な買い物環境や憩いの場を整えることにより生活再建を図るとともに、町内に人の流れを生み出し経済活動を活性化することにより地域振興を図ることを目的とする。 【内容】 上記目的を達成するため、令和5年度から令和6年度にかけて大野駅西に商業施設及び広場を整備する。 (交付要綱第4条第1項第九号) 前8号に掲げるもののほか、中間貯蔵施設等の建設等に伴う影響を緩和するために必要な生活再建及び地域振興等に係る事業

								流れを生み出し 経済活動を活性化することにより地域振興を図る。		【完了期日】令和7年2月28日 【経費】工事費 2,159,332千円
大熊町大野 駅西商業施設等維持運営事業	大熊町	36,607	30,197	0	0	36,607	30,197	中間貯蔵施設の整備等による影響を緩和するため、大野駅西商業施設及び広場の適切かつ効率的な維持管理を行うことにより、利用者の利便性向上を図る。	大野駅西商業施設や広場の維持運営にあたり、指定管理者と連携を密にし、業務を円滑に遂行できていることから、目標を概ね達成したと認められる。	【目的】 中間貯蔵施設の整備等による影響を緩和するため、町民の生活に必要な買い物環境や憩いの場として整備した大野駅西商業施設及び広場を適切かつ効率的に維持管理することで、利用者の利便性向上を図ることを目的とする。 【内容】 上記の目的を達成するため、地方自治法に基づく指定管理者による施設の維持運営を行う。 (交付要綱第4条第1項第九号) 前8号に掲げるもののほか、中間貯蔵施設等の建設等に伴う影響を緩和するために必要な生活再建及び地域振興等に係る事業 【完了期日】令和7年3月31日

										<b>【経費】</b> 維持運営費 30,197 千円
大熊町大野 駅西商業施 設運営補助 金事業	大熊町	33,592	7,746	0	0	33,592	7,746	中間貯蔵施設の 整備等による影 響を緩和するた め、大野駅西商 業施設の入居事 業者に対して人 件費及び光熱水 費を補助するこ とで、大野駅西 商業施設の運営 の安定化を図 る。	大野駅西商業 施設の安定し た運営を図る ため、5 件の 大野駅西商業 施設の入居者 に対して補助 金を円滑に交 付できたこと から、目標を 概ね達成した と認められ る。	<b>【目的】</b> 大野駅西商業施設を安定して運営する ことで、町民や町内勤務者の買い物環 境を確保し、町内の地域振興に資する ことを目的とする。 <b>【内容】</b> 上記の目的を達成するため、大野駅西 商業施設に入居する事業者に対して人 件費及び光熱水費に係る費用を補助金 として交付する。 (交付要綱第 4 条第 1 項第六号) 企業導入・産業活性化事業 <b>【完了期日】</b> 令和 7 年 3 月 31 日 <b>【経費】</b> 補助金 7,746 千円
大熊町総合 運動公園整 備事業	大熊町	162,000	59,140	0	0	162,000	59,140	中間貯蔵施設の 整備等による影 響を緩和するた め、町内（原・ 旭台地区）に総 合運動公園を整 備することで、	総合運動公園 の整備にあた り、委託事業 者と連携を密 にし、業務を 円滑に遂行す ることができ	<b>【目的】</b> 町内に総合運動公園を整備すること で、町民の健康維持と楽しむ場の創出 による町民の福祉向上を図ることを目 的とする。 <b>【内容】</b> 上記の目的を達成するため、町内（原・

								町民の健康維持と楽しむ場の創出による町民の福祉向上を図る。	ていることから、目標を概ね達成したと認められる。	旭台地区)に総合運動公園を整備する。 (交付要綱第4条第1項第五号) 公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営事業 【完了期日】令和7年3月31日 【経費】調査設計費 59,140千円
大熊町町民交流イベント運営事業	大熊町	24,400	24,330	0	0	24,400	24,330	中間貯蔵施設の整備等による影響を緩和するため、町民に思い入れのある大熊インキュベーションセンター(旧大野小学校)において交流イベントを実施することで、町民のふるさとの結びつきの維持を図る。	町民交流イベントの実施にあたり、委託事業者との連携を密にし、円滑に業務を遂行することができたこと、当日は2,000名超が来場し盛況であったことから、目標を概ね達成したと認められる。	【目的】 町民に思い入れのある大熊インキュベーションセンター(旧大野小学校)において交流イベントを実施することで、町民のふるさとの結びつきの維持を図ることを目的とする。 【内容】 上記目的を達成するため、大熊インキュベーションセンターにおいて町民交流イベントを実施する。 (交付要綱第4条第1項第一号) ふるさとの結びつきを維持するための事業 【完了期日】令和7年3月31日 【経費】事業運営費 24,330千円
大熊町ゼロ	大熊町	12,947	12,947	0	0	12,947	12,947	中間貯蔵施設の	ゼロカーボン	【目的】

カーボン PR イベント出 展企画運営 事業								整備等による影 響を緩和するた め、「ゼロカーボ ンによる復興ま ちづくり」を掲 げる大熊町が進 めるゼロカーボ ン施策を広報す るイベントを実 施することで、 ゼロカーボンに 関連する企業・ 町民の集積・交 流を促進し、も って地域活性化 を図る。	施策を広報す るイベントの 実施にあたり、委託事業 者との連携を 密にし、円滑 に業務を遂行 することがで きたことか ら、目標を概 ね達成したと 認められる。	「ゼロカーボンによる復興まちづく り」を掲げる大熊町が進めるゼロカー ボン施策を広報するイベントを実施す ることで、ゼロカーボンに関連する企 業・町民の交流・集積を促進し、もっ て地域活性化を図ることを目的とす る。 <b>【内容】</b> 上記目的を達成するため、大熊インキ ュベーションセンターにおいてゼロカ ーボン PR イベントを実施する。 (交付要綱第 4 条第 1 号第八号) 地域活性化事業 <b>【完了期日】</b> 令和 7 年 3 月 31 日 <b>【経費】</b> 事業運営費 12,947 千円
大熊町「き おくの森」 公演事業	大熊町	9,327	8,920	0	0	9,327	8,920	中間貯蔵施設の 整備等による影 響を緩和するた め、東京都内で 町オリジナルの 演劇「きおくの 森」の公演	演劇「きおく の森」の公演 を東京都内で 実施するにあ たり、委託事 業者との連携	<b>【目的】</b> 東京都内で町オリジナルの演劇「きお くの森」の公演を実施することで、町 民のふるさととの結びつきの維持を図 ることを目的とする。 <b>【内容】</b>

								<p>森」の公演を実施することで、町民のふるさととの結びつきの維持を図る。</p>	<p>を密にし、円滑に業務を遂行することができたことから、目標を概ね達成したと認められる。</p>	<p>上記目的を達成するため、令和 6 年度に東京都内において町オリジナルの演劇「きおくの森」の公演を実施する。  (交付要綱第 4 条第 1 項第一号)  ふるさととの結びつきを維持するための事業  <b>【完了期日】</b> 令和 7 年 3 月 31 日  <b>【経費】</b> 事業運営費 8,920 千円</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	--

令和6年度中間貯蔵施設整備等影響緩和交付金基金事業計画書

※令和5年度からの繰越事業

(基金事業の結果)

事業名	事業 実施 主体	事業経費（千円）						目標	目標 達成度 ・評価	事業結果 (事業の目的・内容・完了期日、 経費の使用方法・内訳を含む。)
		基金充当費		単独経費		合計				
		予算	決算	予算	決算	予算	決算			
大熊町 大野駅 西商業 施設等 整備事 業	大熊町	1,599,258	1,599,258	0	0	1,599,258	1,599,258	中間貯蔵施設 の整備等によ る影響を緩和 するため、「特 定復興再生拠 点復興再生計 画」に掲げる 「大野駅前の 賑わい」創出 を目指す商業 施設や広場を 整備すること で、町民の生 活に必要な買	大野駅前の 賑わい創出 を目指す商 業施設や広 場の整備に 向け、工事 事業者と連 携を密に し、業務を 円滑に遂行 できたこと から、目標 を概ね達成 したと認め	【目的】 大野駅前に商業施設や広場を整備すること で、町民の生活に必要な買い物環境や憩い の場を整えることにより生活再建を図ると ともに、町内に人の流れを生み出し経済活 動を活性化することにより地域振興を図る ことを目的とする。 【内容】 上記目的を達成するため、令和5年度から 令和6年度にかけて大野駅西に商業施設及 び広場を整備する。 (交付要綱第4条第1項第九号) 前8号に掲げるもののほか、中間貯蔵施設 等の建設等に伴う影響を緩和するために必

								い物環境や憩いの場を整えることにより生活再建を図るとともに、町内に人の流れを生み出し経済活動を活性化することにより地域振興を図る。	られる。	要な生活再建及び地域振興等に係る事業 <b>【完了期日】</b> 令和7年2月28日 <b>【経費】</b> 工事費 1,599,258千円
--	--	--	--	--	--	--	--	---	------	--

※事業経費の1,599,258千円は、令和5年度中に一般会計に繰り入れ後、翌年度へ繰越したものの。